

1 主題構成表

主題名「くじけず努力する」(小学校・高学年) 資料名「自分で考えなさい—高木 貞治」

<p>■ 内容項目 1-(2) より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。</p>	<p>■ 内容項目から見た 児童の実態 (意識)</p> <ul style="list-style-type: none">・スポーツ選手や著名人等の姿に憧れ、自分なりの夢や希望をもったり、目標を立てたりして、頑張ろうという気持ちがある。・自分なりの目標を立てるものの、途中であきらめたり、安易に目標を変えたりするなど、目標達成のために粘り強く取り組もうとする意識に弱さがみられる。 <p>(要因)</p> <ul style="list-style-type: none">・自分なりの目標をやり遂げた達成感や、充実感を十分に感得していない。・自分には無理だという決め付けた考え方があがる。・目標は立てるもののその場やその時の雰囲気流されてしまう心の弱さがある。	<p>■ 資料の分析</p> <ul style="list-style-type: none">・本資料は、分からない問題についても、自分の力でやりぬこうとしたり、誰も解くことができない問題にも取り組もうとしたりするなど、高木貞治氏の生き方から、目標達成のためにたゆまぬ努力をすることの大切さについて考えることができる。・高等学校において、数学の先生から出された問題を、食事の時も、学校の行き帰りの時も時間があれば夢中になって考える貞治の粘り強い姿を捉える。・大学において、分からない問題について教えを受けようと教授に尋ねたが、「これはおもしろい問題だ」とだけ言われた時、貞治にはそこであきらめることなく、自分の力でやりぬこうと決意する強い意志が生まれたことに気付かせる。・誰も解くことができなかった「類体論」を解くことをテーマとし、何日もかかって繰り返し検討し、孤独との闘いを続ける主人公の姿から、自分自身の今後のよりよい生き方についての自覚を深めることができる。
<p>■ ねらい 強い意志をもって粘り強く取り組むことで達成感や充実感が得られ、あきらめずにやり遂げることが自信となり困難を乗り越える力となることに気付き、より高い目標に向かって前進しようとする心情を育てる。</p>		
<p>■ 展開の構想</p> <ul style="list-style-type: none">・食事をしている時も、学校の行き帰りの時でも、時間さえあれば夢中になって数学の問題に取り組んだ結果、難問を解いた貞治の気持ちを考えることで、粘り強く取り組んだことで得られる達成感に気付かせる。・教授から教えを受けることができなかった貞治が、そこで諦めず自分自身でやりぬくことを決心した姿から、意志の強さに気付かせる。・誰も解くことができなかった「類体論」に取り組むことをテーマとした主人公の実行力の素晴らしさを感じながら、あきらめずやり遂げることが困難を乗り越える力になっていくことに気付かせる。	<p>■ 基本発問 (◎中心発問)</p> <ul style="list-style-type: none">○食事をしている時も、学校の行き帰りの時でも、時間さえあれば夢中になって考えて難問が解けた時、貞治はどんなことを思ったでしょう。○わからない問題について、フロベニウス教授に教えを受けようとしたが「これはおもしろい問題だ」とだけ言われた貞治は、どんなことを思ったでしょう。◎100年も前から誰も解くことができなかった「類体論」を解くことをテーマとしたのは、どんな思いからでしょう。○高木貞治氏の生き方から学んだことは何ですか。ノートに書いてみましょう。	
<p>■ 「私たちの道徳」の活用 (授業前 ・ 授業中 ・ 授業後 ・ 活用しない) (活用の仕方) 本時の学習の内容を家庭に伝え、「希望と勇気をもってくじけずに」(P.18～21)を家の人と一緒に読んだり書いたりしながら、振り返る。</p>		